

加茂信用金庫と地域社会
この街と生きていく。

○ 当金庫の地域経済活性化の取組みについて

当金庫は、新潟県のほぼ中央に位置している加茂市・五泉市・新潟市、田上町を主要エリアとし、9店舗で事業活動を行っており、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展して行くことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・預金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

お客様 / 会員

1. 預金に関する事項（地域からの資金調達の状況）
当金庫では、お客様のニーズにお答えできる豊富な預金商品をご用意して、地域の皆様から豊富な資産作りをお手伝いします。また、大切な資産をより有利に幅広く、楽しみながら運用いただけるよう努力しています。

元金100万円を受取っている方を対象に金利を上乗せする定期預金です。

預金預金残高【68,006百万円】

会員数 8,447人
出資金 273百万円

預金積金 ↓ 出資金 ↓

3. 資金（貸出金を除く）の運用状況

有価証券残高	17,687	百万円
・国債	1,573	百万円
・地方債	2,140	百万円
・社債	8,280	百万円
・株式	917	百万円
・外国証券	2,405	百万円
・その他証券	2,368	百万円

預託率 26.00%

有価証券 17,687百万円
預金積金 68,006百万円

6. 文化的・社会貢献に関する事項

1. 加茂市のシンボルである加茂山公園と加茂川の「市民一斉清掃」に大勢の職員で参加し、加茂市の美化に努めています。
2. 「越後加茂川夏祭り」「護摩堂山あじさいまつり」に職員が積極的に参加し、地元の皆様と共に各地の行事を盛り上げています。
3. 毎年6月15日の「信用金庫の日」には、「愛の献血運動」を行っています。

今後、地域貢献活動について、会員や地元住民の皆さんはどんな活動を望んでいるのかなどを検討し、一層充実した地域貢献活動を行う方針です。

2. 貸出金（運用）に関する事項（地域への資金供給の状況）

(1) 預貸率 47.16%
(2) 貸出金残高 32,076百万円

業種別、使途別内訳	事業者	17,994	百万円
	個人	10,834	百万円
	地公体	3,248	百万円
	設備資金	10,787	百万円
	運転資金	21,289	百万円
	住宅ローン	6,680	百万円
	消費者ローン	4,154	百万円
	事業性資金		
	(個人向け資金)		
	・割引手形		
・手形貸付			
・カーフック			
・証券貸付			
・ドリームローン			
・当座貸越			
・教育ローン			
・事業カードローン			
・福祉ローン			
・カードローン他			
	・大型ネットバンク		
	・スペシャルサポート（中小企業向け融資）		
	・無担保ビジネスローン「BESTパートナー」		

(3) 制度融資取扱状況
新潟県の中小企業支援のための経営安定資金、セーフティネット資金、木材産業等高度化推進資金等や加茂市、五泉市、新潟市、田上町の各市町の制度融資も取扱っています。また、当金庫独自の無担保ローンや消費者ローンについても積極的に取扱いを行っています。

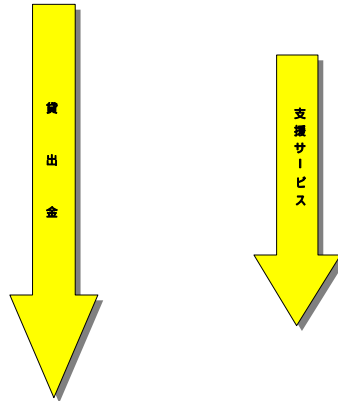
(4) 融資商品

加茂信用金庫

地域貢献の体制整備

(1) 店舗体制
9店舗で営業を行っています。
(本店営業部 西加茂支店・上条支店・五泉支店・村松支店
新津支店 田上支店 白根支店 北上支店)

(2) 常勤役員職数
96人 内訳 理事7人 監事1名 職員88名



お客様（会員）

4. 今期決算に関する事項

平成18年度業績につきましては、預金は、個人預金の増加により、平均残高は67,652百万円で前期比1,712百万円増加し、期末残高は68,006百万円で前期比1,374百万円増加いたしました。貸出金は、景気低迷の資金需要不足から事業性資金、個人向け資金が減少し、期末残高は32,076百万円で、前期比2,294百万円減少いたしました。平均残高は32,226百万円で前期比51百万円増加いたしました。

収益面につきましては、貸出金平均残高の減少と低金利政策により、資金運用利回りは低下し、また経費の増加および日銀の政策金利上げによる預金金利上げから、預金利息が35百万円増加した結果、業務純益は前期比63百万円減少した265百万円となりました。不良債権処理や地価下落について積極的に対応したことから、貸出金償却55百万円計上いたしました。税引前当期純利益285百万円、当期純利益227百万円を計上することができました。自己資本比率も、17.26%となり国内基準である4%を大きく上回っております。

5. 取引先への支援等

(1) 顧客ネットワーク化の取組み
吾地区後援会、かもしんきん大関倶楽部、毎年楽しい企画で旅行する「旅の会」等で顧客ネットワークに積極的に取り組んでいます。

(2) 経営改善支援先等への支援
平成16年2月、「中小企業支援室」が企業支援等担当事務として2名体制で独立、平成17年3月には1名増員して3名体制としました。その後、管理部門中小企業支援課と変更しました。
平成17年度は、経営改善支援取組み先38先のうち、債務者区分のランクアップは8先で、改善率は15.7%。平成18年度は、経営改善支援取組み先40先のうち、債務者区分のランクアップは2先で、改善率は5.0%でした。今後も、経営改善のためのアドバイスや企業に役立つ支援を心がけ、中小企業支援課と営業店が一体となり、積極的に経営改善のお手伝いを行ってまいります。

(3) 創業・新事業への支援に向けた様々な取組み
にいがた産業創業ファンドに出資を行っております。
地域産業の特性を再度認識し、情報収集を行いながら地域に役立つコミュニティビジネスを支援する方針です。地方公共団体の産業政策や商工会議所・商工会と連絡をとりながら企業創業者等の情報を収集して行きます。

(4) 経営相談業務の実施状況
現在、かもしんきん大関倶楽部で経営に関する講演会、企業視察を行っており、今後経営相談業務等の活動も実施して行く予定です。

(5) 情報提供活動
平成16年1月より、当金庫ホームページからアクセスし、中小企業向け情報やサービスを提供を受ける「かもしん経営広場」を開始しました。

(6) 地域のつづき支援
上記(4)同様、次世代を担う若手経営者・後継者の資質向上を目的とした「かもしんきん大関倶楽部」で、講演会、企業視察等を行っています。